

第4次

甲賀市地域福祉活動計画

《計画期間》

令和7年(2025年)4月～令和11年(2029年)3月

基本理念 地域で 共に生きる

ご近所福祉でまちづくり

第4次地域福祉活動計画で重点的に取り組む活動目標

- 1 誰もが残されない
参加者が主役のサロンづくり
- 2 地域の誰もが参加できる
ふれあいと交流の場づくり
- 3 お互いが支えあう
地域の仕組みづくり
- 4 福祉と出会える場づくり
福祉タウンミーティングの開催
- 5 支えあいで困りごとを
解決する住民活動の支援
- 6 災害時に即応できる体制整備
災害福祉ボランティアの育成と確保

はじめに

誰もが住み慣れた地域の中で、見守り、支えあう福祉のまちづくりの推進。これを「ご近所福祉」として、平成25年より甲賀市地域福祉活動計画を策定し、市民の皆様をはじめ福祉関係機関・団体や行政、甲賀市社会福祉協議会など地域福祉に関わる多くの方がともに取り組んできました。

地域社会や福祉を取り巻く環境は日々変化し続けます。甲賀市社会福祉協議会と甲賀市地域福祉活動計画策定委員会では、このことに対応するため、計画の期間を4年間とし、令和3年には第3次計画を策定し推進してきました。

この12年間、地域では高齢化と人口減少がさらに進行し、生活困窮や社会的孤立をはじめとする暮らしの中の課題は変化し複雑化、深刻化しています。さらに新型コロナウイルス感染症や気候変動による災害の増加といった新たな要素も加わりました。

このような人々の暮らしや社会の変化や課題に対応し、住みなれた地域で一人ひとりが自分らしく暮らしていける福祉のまちづくりを進めるために、すべての人がお互いを認め、共に支えあい、その人らしい生活を安心して送ることができる「地域共生社会」の実現を目指し、第4次地域福祉活動計画を策定します。

第4次甲賀市地域福祉活動計画の基本理念と基本方針

【基本理念】地域で共に生きる～ご近所福祉でまちづくり～



私たちは、すべての人がお互いの違いを認め合い、命や人権を大切にし、対等な立場で見守り支えあう、「誰もが住み慣れた地域の中で」「共に生きる」「ご近所福祉でまちづくり」を目指します。

◆◆ 基本方針 ◆◆

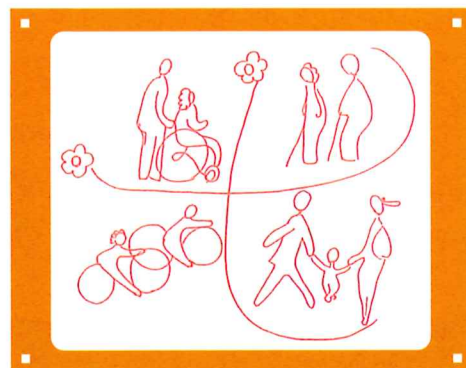
- ① 一人ひとりの住民が主役の福祉のまちづくり
- ② 専門機関・団体・行政と活動者が協働を高める仕組みづくり
- ③ 住民の暮らしの課題を解決するための体制づくり



【地域共生社会イメージイラスト(公募)】

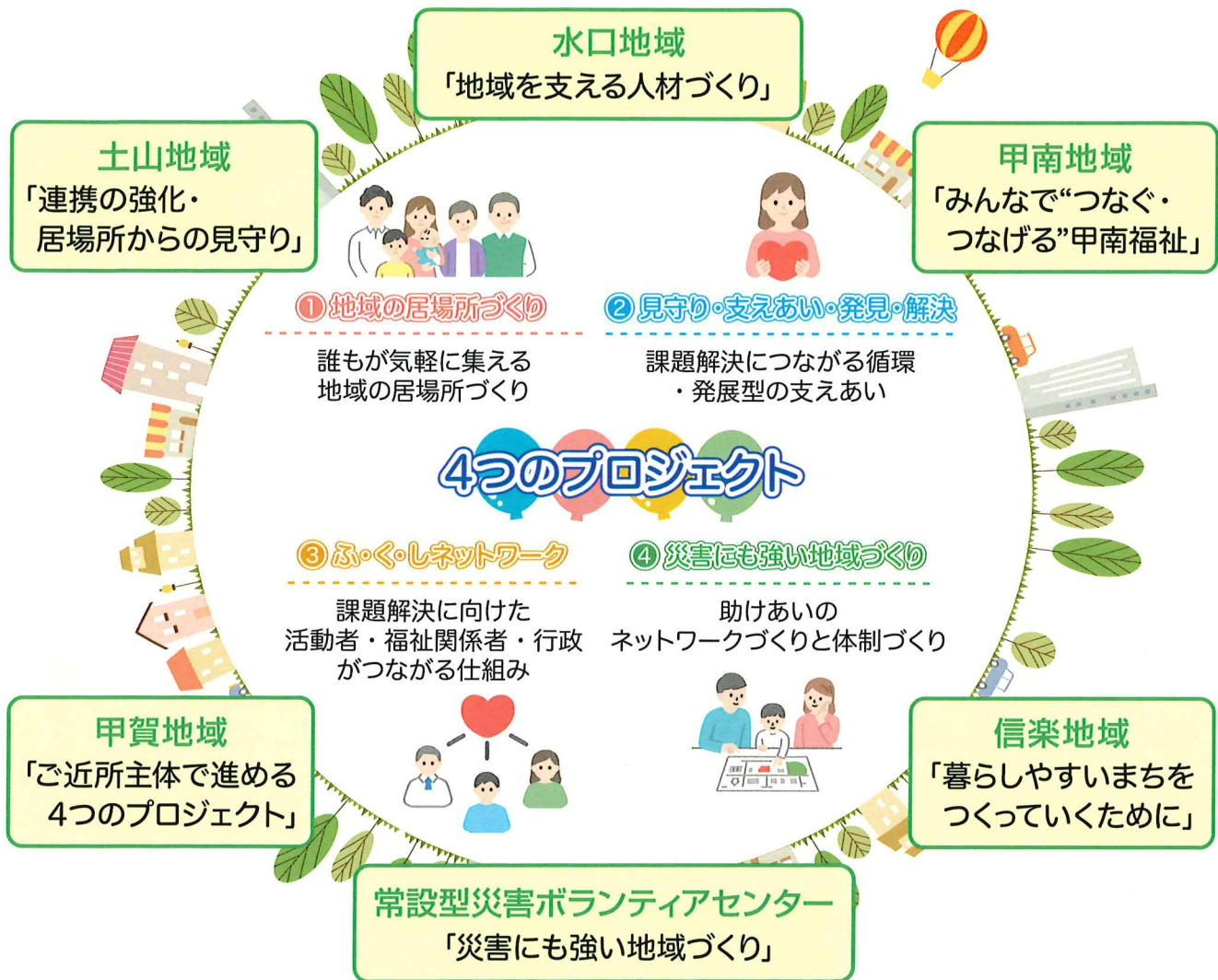
甲南地域ご近所福祉推進協議会
イラストに込めた思い

～地域みんながつながれるまち～



地域福祉活動計画の取り組み内容

4つのプロジェクトと各地域・災害福祉ネットワーク協議会の活動計画



第3次地域福祉活動期間中の主な取り組み

- ◆ 地域福祉活動の担い手育成に向けたボランティア養成講座の実施
- ◇ 子ども食堂の取り組みの推進と運営支援
- ◆ 参加者主体のサロンの立ち上げ支援と推進
- ◇ 高齢になっても、安心して暮らせる地域を目指した認知症啓発活動
- ◆ 地域の社会資源の見える化を目指した、身近な地域の福祉資源マップの作成
- ◇ 地域に向けた福祉啓発（テレビ番組制作協力や広報啓発）
- ◆ 小地域（区・自治会単位）の見守りネットワーク活動の推進、住民・行政・専門機関との連携
- ◇ 災害にも強い地域づくりを目指した災害福祉ネットワークセンターの設置運営
- ◆ 福祉に視点を置いた防災学習会や研修会の企画、実施
- ◇ ヒアリング調査・福祉出前講座の実施

現在の取り組みを第4次地域福祉活動計画へ

これまで、甲賀市では様々な地域の状況や課題に応じた、見守りや支えあいや居場所づくりなどの数多くのご近所福祉活動が、住民主体で取り組まれてきました。また、福祉団体の活動や様々なテーマに対応したボランティア活動に加え、子ども食堂やフードバンクといった新たな活動も生み出されてきています。

しかし、現在は地域のかや住民の福祉活動だけでは解決しきれない課題が増えていく傾向にあり、特に困窮や孤立といった課題はコロナ禍を経て、住民同士が出会い、交流する機会が少なくなったことでより深刻になっています。

一方、福祉を支える関係機関・団体は、児童や高齢・障がい・生活困窮など、住民の福祉課題を解決するため、分野を越えて重層的な連携を目指していますが、課題が複雑化・深刻化する中、支援に携わるマンパワーの確保や住民や活動者との新たな形のネットワークが必要になっています。

このような状況の中、住民や団体、関係機関、行政などが共に①地域の居場所づくり②見守り・支えあい・発見・解決③ふ・く・しネットワーク④災害にも強い地域づくりの4つのプロジェクトに取り組み、それを実行するための活動目標をもとに「ご近所福祉」を推進していきます。

ご近所福祉を進める 4つのプロジェクト

本計画の基本理念、基本方針に基づいた活動を具体的な活動にするために必要な4つのプロジェクトに取り組みます。

「地域の居場所づくり」

「見守り・支えあい・発見・解決」

「ふ・く・しネットワーク」

「災害にも強い地域づくり」

① 地域の居場所づくりプロジェクト

現在、支援の必要な方の状況を深刻にしている要因のひとつが「孤立」です。これに対応するのがこのプロジェクトです。住民の出会いの場であり、交流の場でもあるのが居場所です。同時にそれは課題の発見の場でもあり、解決の場でもあります。

コロナ禍により人々の交流が難しくなった今、今一度その役割を再確認し、現状の実態を把握するとともに、そのありかたを見直し、「孤立」をはじめとする様々な地域課題に取り組める活動の場として居場所づくりや、居場所のネットワーク化を目指します。

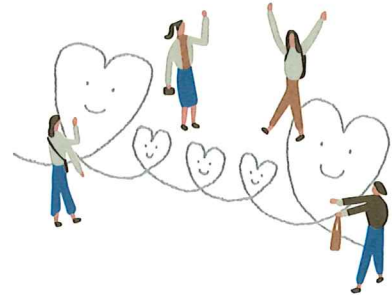


② 見守り・支えあい・発見・解決プロジェクト



「見守り」から「支えあい」へ、「支えあい」から「発見」へ、「発見」から「課題解決」へ、さらに次の「見守り」へとつながる、循環発展型の見守りと支えあいのネットワークづくりを市内に広げ、さらに、従来より高齢者中心であったこの活動を全世代型へと発展させることを目指します。

- 活動者の交流や研修
- ネットワーク化の支援
- 活動者の養成、人材発掘
- 活動の啓発、広報活動
- 各地域の課題に対応した見守り支えあいの検討
- 地域に必要な福祉制度・福祉施策立案に向けた政策提言



③ ふくくしネットワークプロジェクト



市内では専門分野ごとの多様な福祉関係者による福祉サービス、相談援助、福祉事業が実施されています。しかし、支援を必要とする方は増え続け、同時にその課題は複雑化重層化しています。

この増大する福祉ニーズに応えるために、福祉関係者同士が連携し、活動者とのネットワークづくりや福祉を支えるマンパワーの確保と充実に取り組み、ご近所福祉につながる仕組み作りを目指します。

- 住民が福祉に出会える場づくり
- ご近所福祉活動を担うマンパワーの養成、人材発掘
- 専門職と地域の住民、活動者がつながる場づくり
- 専門職同士の交流、研修の場づくり
- 全世代に向けた福祉学習・福祉教育



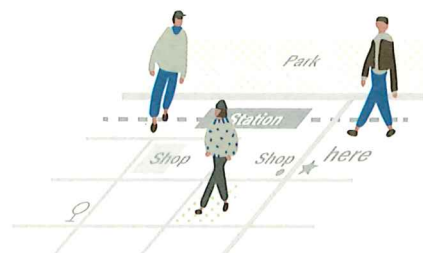
④ 災害にも強い地域づくりプロジェクト



近年の気候変動により災害が増加する中、防災と被災時対応は一人暮らし高齢者や障がい児・者、乳幼児、妊婦等、いわゆる災害弱者といわれている人たちだけでなく、すべての人の課題です。

被災された方が少しでも早く日常生活を取り戻すために、迅速に支援活動を開始できるよう常設型災害ボランティアセンターの機能を充実し、災害の規模を問わずボランティアコーディネート等により被災された方を支援します。

- 常設型災害ボランティアセンターの運営と機能の充実
- 登録災害ボランティアの養成と確保
- ボランティアコーディネートによる被災者支援活動の実施
- 災害時対応につながる啓発
- 関係機関、民生委員・児童委員、活動者との連携



第4次地域福祉活動計画の策定に向けて

甲賀市地域福祉活動計画策定委員会と甲賀市社会福祉協議会は、第3次地域福祉活動計画の成果と課題を確認し、甲賀市の地域福祉活動に必要な地域福祉の推進を目指して第4次地域福祉活動計画の策定を進めました。



甲賀市地域福祉計画・甲賀市地域福祉活動計画のための
市民参加型タウンミーティング

私たちの ウェルビーイング を考えよう

私の心が豊かなくとも、
あなたの心が豊かなくとも、
私たちの考える
ウェルビーイングって
一体どんな色、形を
しているんだろう。

8/30に予定していたものを
台風の影響で延期開催します

2024
9/27 金 18:30-20:30

場所 甲賀市まちづくり活動
センター「まるむ」
【甲賀市本町西2-6-609-1】

対象 甲賀市民
(市内在住or在勤) 定員 30名

参加方法
①申し込み
②当日参加
お申し込みください
③9月27日(金)
※当日参加可です

西野 日菜
大塚 由希
カワムラツブツブツ
担当 伊藤 真由美
電話 0748-49-3137
FAX 0748-76-3107 jms@shibukyo.com

第4次地域福祉活動計画の策定にあたって、甲賀市地域福祉計画の進捗を確認するとともに甲賀市地域福祉活動計画と甲賀市地域福祉計画策定のためのタウンミーティング（令和6年9月27日開催）を開催し、地域住民、ボランティア、市民活動者に参加いただきました。



タウンミーティングの様子
(令和6年9月27日開催)



地域共生社会づくりを目指して
アイデアを出し合いました。

市民参加型のタウンミーティングでは、「ウェルビーイング（こちよ、心豊かなの意味）」をテーマに、地域づくりに必要な取り組み、居場所、制度、人と人とのつながりを甲賀市でこれからどう取り組んでいくのか、グループに分かれて話し合いを持ち、参加者が地域に寄せる思いを共有しました。その一部を紹介します。

- みんなが気軽に集まれる居場所が欲しい（おとなも子どもも自由に過ごせる居場所）。
- 孤独、孤立にならないように、常にだれかがいてくれる、寄り添ってくれる地域にしたい。
- 自分の得意なこと（料理や音楽など）を活かして、人の役に立つことができればと思っている。
- 新しいこと（市民活動、ボランティア活動など）に挑戦できる、新しい取り組みをみんなが応援してくれる地域にしたい。

第4次甲賀市地域福祉活動計画で具体的に取り組む活動目標

これまでの経過をふまえ、甲賀市地域福祉計画策定委員会では、今後、地域で取り組む活動目標を作成しました（次ページ）。各プロジェクトにおいて、大切にしたいキーワードは以下の通りです。

地域の居場所づくり

- ・ 孤立を減らす
- ・ 参加者が主役のサロン
- ・ 100歳体操、子ども食堂、フードバンク活動

見守り・支えあい・ 発見・解決

- ・ 安心、安全の暮らし
- ・ 新たな社会資源創出
- ・ ひきこもり、動物福祉、重層支援・政策提言

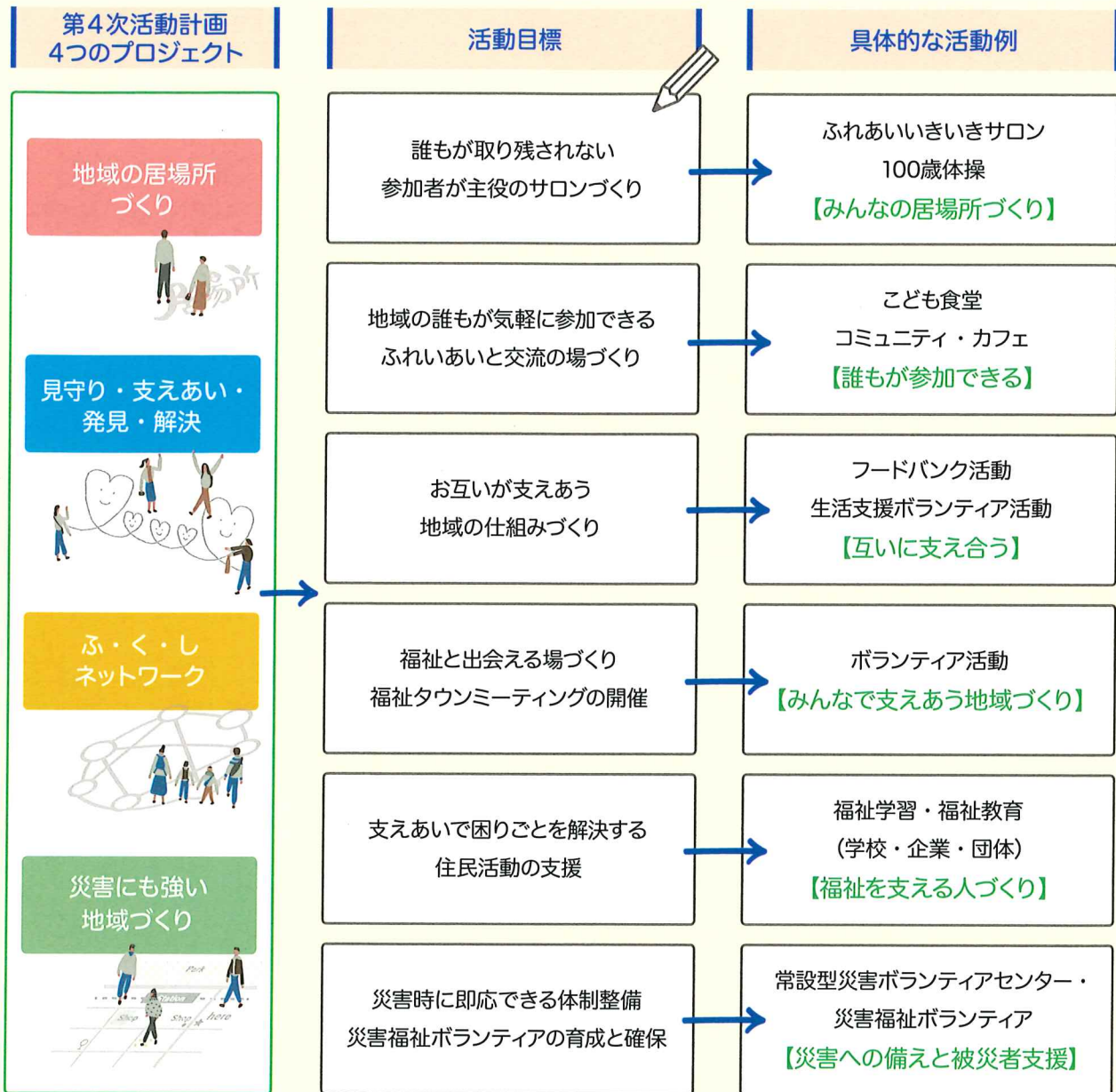
ふい・しネットワーク

- ・ 福祉学習・福祉教育
- ・ 協働関係の構築
- ・ 福祉との出会いの場
- ・ 福祉の担い手の確保

災害にも強い地域づくり

- ・ 常設型災害ボランティアセンター
- ・ 災害福祉ボランティア派遣による支援

第4次地域福祉活動計画で取り組む活動目標と具体的な活動例



「誰もが住み慣れた地域の中で」「共に生きる」「ご近所福祉のまちづくり」を目指して

(第4次甲賀市地域福祉活動計画の推進と振り返り)

本計画では、地域の特性や課題をふまえ、住民、ボランティア、福祉関係機関・福祉団体、行政が協働して、具体的な活動目標に基づき、ご近所福祉のまちづくりを推進することを重視しています。本計画の推進期間である2025年から2029年の間に、それぞれの活動目標に対して、どのような成果や結果を生み出したかを地域福祉活動計画策定委員会にて振り返り、よりよい地域づくりに向けた調整や見直しを加えながら、地域の実情に応じた取り組みを進めます。



地域福祉活動計画とは

社会福祉協議会が呼びかけて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行うもの、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を営営するものが相互協力して策定する、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。



ご近所福祉とは

そこに暮らしているすべての人が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けることができるように、住民の暮らしの困りごとや地域の課題解決に、住民やボランティア、福祉関係機関・団体、行政等と協力し合って、自ら取り組む住民主体の活動です。



地域共生社会とは

世代や分野を越えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らせる地域や社会を創っていくことを指します。



地域で共に生きる ーご近所福祉でまちづくりー

(第4次甲賀市地域福祉活動計画)
令和7年(2025年)4月

甲賀市地域福祉活動計画策定委員会 委員

- 委員長 … 富岡 正義 (甲賀市民生委員・児童委協議会連合会 会長)
- 副委員長 … 田中のぶ子 (甲賀市ボランティア連絡協議会 会長 兼 水口地域ご近所福祉推進協議会 会長)
- 委員 … 中島 仁史 (甲賀市災害福祉ネットワーク協議会 会長 兼 土山地域ご近所福祉推進協議会 会長)
- 委員 … 中島 教芳 (甲賀地域ご近所福祉推進協議会 会長)
- 委員 … 樫尾 重虎 (甲南地域ご近所福祉推進協議会 副会長)
- 委員 … 大谷 善一 (信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会 委員長)
- アドバイザー … 志藤 修史 (大谷大学 社会学部 教授)



社会福祉法人 甲賀市社会福祉協議会

〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5609番地

TEL 0748-65-6370 (代表) FAX 0748-63-4823

e-mail info@kokashakyo.com

ホームページ <https://kokashakyo.jp>



ホームページ